

別表1

ブライダル科 教育課程

区分		履修科目名	1年		2年		合計		
			単位	時間	単位	時間	単位	時間	
必修科目	ブライダル分野	講義	ブライダルコーディネーター技能検定Ⅰ	1	30			1	30
			ブライダルコーディネーター技能検定Ⅱ	1	30			1	30
			全米ブライダルプランナー検定Ⅰ	1	30			1	30
			全米ブライダルプランナー検定Ⅱ			1	30	1	30
			現代ブライダル概論			1	30	1	30
			現代ホテル理論Ⅰ	1	30			1	30
			現代ホテル理論Ⅱ			1	30	1	30
			ホテルビジネス基礎Ⅰ	1	30			1	30
			ホテルビジネス基礎Ⅱ	1	30			1	30
			ブライダルコスチュームⅠ	1	30			1	30
		ブライダルコスチュームⅡ	1	30			1	30	
		実習	ブライダルプロデュースⅠ	2	60			2	60
			ブライダルプロデュースⅡ			2	60	2	60
			セレモニープロデュースⅠ	2	60			2	60
			セレモニープロデュースⅡ			2	60	2	60
			ブライダル企画運営			1	30	1	30
			レストランサービス	1	30	1	30	2	60
			フラワーコーディネートⅠ	1	30			1	30
			フラワーコーディネートⅡ			1	30	1	30
			和装・着付けⅠ			1	30	1	30
			和装・着付けⅡ			1	30	1	30
			京都和婚			1	30	1	30
			ブライダルプランニング演習			1	30	1	30
			ブライダル広告研究			1	30	1	30
			インターンシップ	4	120			4	120
	トータルビューティ分野		講義	色彩学Ⅰ	1	30			1
		色彩学Ⅱ				1	30	1	30
		実習	ブライダルヘアメイク			1	30	1	30
			メイクアップ基礎	2	60			2	60
			メイクセラピー			2	60	2	60
	ヘアアレレンジ	1	30			1	30		
	ビジネス基礎分野 キャリア基礎力分野	講義	ビジネス基礎Ⅰ	1	30			1	30
			ビジネス基礎Ⅱ	1	30			1	30
			硬筆書写Ⅰ	1	30			1	30
			硬筆書写Ⅱ	1	30			1	30
			サービス接遇Ⅰ	1	30			1	30
			サービス接遇Ⅱ	1	30			1	30
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅰ	1	30			1	30
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ			1	30	1	30
			文書表現力	1	30			1	30
			ビジネス英語基礎			1	30	1	30
		ビジネス英語応用			1	30	1	30	
		ビジネス英語会話			1	30	1	30	
		ブライダル企業研究	1	30			1	30	
		キャリアデザイン	1	30			1	30	
実習		基本IT技術Ⅰ	2	60			2	60	
	基本IT技術Ⅱ			2	60	2	60		
	基本IT技術Ⅲ			2	60	2	60		
	ソーシャルメディア			1	30	1	30		
必修科目計			34	1020	28	840	62	1,860	
選択科目	ビジネス基礎力分野	講義	論理的思考力基礎			1	30	1	30
			ボランティア活動Ⅰ	1	30			1	30
			ボランティア活動Ⅱ			1	30	1	30
選択科目計			1	30	2	60	3	90	
総計(必須+選択)			35	1,050	30	900	65	1,950	

※単位：90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし校外実習などこれによりがたい場合は別途決定する

※科目履修(単位)認定の要件：80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。							
授業の一般目標	日本のブライダル業界に必要な基礎知識、及びブライダルコーディネーター業務について学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	日本のブライダルの歴史、ブライダルビジネスの現状が把握できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	過去のBIA検定問題に出題されているブライダルの基礎知識を間違いなく選択することができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、各ブライダル業種や関連業種について調べ、説明する事ができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	前期で学んだ範囲のBIA検定過去問題を解くことができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション Lesson1 結婚とは	検定の趣旨・特徴・受験の手続きなど案内 結婚とは						
第2回	Lesson2 ブライダルビジネス	ブライダルビジネスと呼ばれる業種を学ぶ・市場の推移を知る						
第3回	Lesson2 ブライダル業種	結婚式会場・披露宴会場・その他ブライダルビジネスについて						
第4回	Lesson2 ブライダル業界の1年	繁忙期・閑散期・集客のシステムについて						
第5回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説						
第6回	Lesson3 ブライダルの基礎	見合い・結納について・顔合わせについて						
第7回	Lesson3 ブライダルの基礎	新郎新婦の結婚までのスケジュール。検討必要事項及び時期を学ぶ。						
第8回	Lesson3 ブライダルの基礎	様々な挙式①:キリスト教式・シビルマリッジ						
第9回	Lesson3 ブライダルの基礎	様々な挙式①:神前式・仏前式						
第10回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説						
第11回	Lesson3 ブライダルの基礎	披露宴～二次会、海外ウェディング、新婚旅行について						
第12回	Lesson4 コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴(商品特徴)、セールスと施行、新規から成約までの流れを学ぶ						
第13回	Lesson1～4までの総復習	ブライダル概論及びBIA検定の授業範囲の総復習						
第14回	Lesson1～4までの総復習	ブライダル概論及びBIA検定の授業範囲の総復習						
第15回	期末テスト	1回～14回の内容で期末テスト実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○		○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎		○		20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎	○			20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	國定 章子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/			

科目名	ブライダルコーディネーター技能検定Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。ブライダルコーディネーター検定3級取得の対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を学ぶ。							
授業の一般目標	日本のブライダル業界に必要な基礎知識、及びブライダルコーディネーター業務について学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ブライダルコーディネーターの業務内容を説明することができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	BIA検定問題の基礎知識を間違いなく選択することができ、得た知識を他の実技授業で活かす事が出来る。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、各ブライダル業種や関連業種について調べ、説明することができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	BIA検定3級を取得できる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定試験に関する詳細説明・前期復習・後期授業範囲について学習する						
第2回	Lesson5 打合せ業務	成約から披露宴本番までの打合せの流れについて学習する						
第3回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選定・当日業務	会場コーディネイト・テーブルプラン・テーブルセッティングについて理解する						
第4回	Lesson6・Lesson7 ブライダルアイテムの選択・手配業務	ペーパーアイテム(招待状・席札など)について発送時期や基本ルールを学習する						
第5回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説						
第6回	Lesson6 ブライダルアイテムの選択	婚礼料理、飲み物、ウェディングケーキについて学習する						
第7回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選択・当日業務	披露宴の進行、司会や音響の役割、各種演出について理解する。						
第8回	Lesson6・Lesson8 ブライダルアイテムの選択・当日業務	披露宴の進行、司会や音響の役割、各種演出について理解する。						
第9回	復習テスト	BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説						
第10回	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する						
第11回	Lesson7 手配業務	引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する						
第12回	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う。						
第13回	BIA検定対策集中授業	過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う。						
第14回	総復習	コーディネーター業務の総復習を行い、期末テスト対策を実施。						
第15回	期末テスト	前後期授業で学んだ内容で実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○		○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎		○		20	A(3):80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			◎	○			20	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	國定 章子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/			

科目名	全米ブライダルプランナー検定 1		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主に全米ブライダルプランナー検定2級取得を目的とした対策授業。 この授業で使用する教材から日本のブライダル業界の変遷も理解する。また、現在行われている日本のブライダルでの進行や演出の多くは、欧米のブライダルの流れを受けている事を理解し、それぞれの演出や進行が持つ歴史や意味についての知識を広げる。							
授業の一般目標	ブライダル業界で必要とされる一般的な知識を習得し、9月に実施される全米ブライダルプランナー検定の2級合格を目指す。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた進行や演出を参考に、模擬挙式やリアルウェディングの進行を考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	欧米で行われている演出や進行を実践に活かす事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	前期で学んだ範囲のBIA検定過去問題を解くことができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定試験概要説明、授業の進め方について説明。ブライダル用語について認識確認				The Business of American Weddings		
第2回	欧米編	第2章 アメリカンウェディング(ブライダルパーティーなど名称を覚える)						
第3回		第2章 アメリカンウェディング(ギフト・ペーパーアイテムなど名称を覚える)						
第4回		第6章 ブライダルコンサルタントとは(米国ウェディングの市場・コンサルタントとしての仕事など)						
第5回		第4章 アメリカンウェディング(セレモニー・3つの宗教・宗派・伝統的な言い伝えなど)						
第6回		第7章 宗教ウェディング(プロテスタント・ローマカトリック・ユダヤ教・非宗教について)						
第7回		第5章 アメリカンウェディング(レセプション 本番)						
第8回	欧米編 総復習	アメリカンウェディング 総まとめ						
第9回		アメリカンウェディング 総まとめ				小テスト実施		
第10回	日本編	日本の婚礼会場における仕事				The Business of Japanese Weddings		
第11回		日本の婚礼における関連サービス・主要業者について						
第12回		日本のブライダル市場について						
第13回	日本編 総復習	日本における結婚式の総まとめ				小テスト実施		
第14回	過去問題 模擬試験(直前対策授業)	ブライダルプランナー検定3級 過去問題演習				8月29日(月)実施予定		
第15回	期末テスト実施	欧米と日本のテキストより出題						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		60	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	B(2):70点以上
授業態度			○	◎			10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/			

科目名	全米ブライダルプランナー検定Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	主に全米ブライダルプランナー検定1級取得を目的とした対策授業。 前期に学習した内容を復習し、1級の範囲となるテキスト後半の対策及び、プランナーになった場合を想定した論述形式の問題への対策を行う。							
授業の一般目標	ブライダルプランナーとしての対応力を学び、9月実施の全米ブライダルプランナー検定1級取得を目指す。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた進行や演出を参考に、さまざまなパターンへの提案を考案できる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	欧米で行われている演出や進行を実践に活かす事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	全米ブライダルプランナー検定1級を取得できる。論文でプランナーを想定したゲストへの提案ができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定試験概要説明、授業の進め方について説明。						
第2回	日本版①	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第3回	日本版②	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第4回	日本版③	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第5回	欧米編①	欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ						
第6回	欧米編②	欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ						
第7回	欧米編③	1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う						
第8回	欧米編④	1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う						
第9回	記述対策授業	記述問題に対して、いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする						
第10回	記述対策授業	記述問題に対して、いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする						
第11回	総まとめ	欧米ならではの特徴を総復習(ブライダルパーティ・宗教挙式など)						
第12回		日本のブライダルビジネスについて				1月0日		
第13回	検定直前対策授業	全米ブライダルプランナー検定1級試験 直前対策授業						
第14回								
第15回	期末テスト実施							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			○		50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/			

科目名	ブライダルコスチュームⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	人生で最も華やかで輝かしい儀式「結婚式」「披露宴」のための婚礼衣装。花嫁がその運命の1着に出会われるまでのサポートをするのがコスチュームアドバイザーやスタイリストです。本授業では、衣装の歴史・ドレスコード・シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスコードなどの扱い方を習得します。洋装(ウェディングドレスやカラードレス)・アクセサリー・ベールなどの小物合わせ、和装についてトータルで学習し、ブライダルの現場で即戦力となれることを目指します。							
授業の一般目標	①衣装・小物の種類を理解する。 ②ドレスの着せ方を学び、フィッティングができる。 ③補正の方法やドレスメンテナンスや、扱い方を知る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	資料配布。参考書としてBIA『ブライダルコーディネータテキスト・スタンダード』・ABC『The Business of Japanese Weddings』							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	衣装の歴史、アイテム、シルエット、小物の名称を理解できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ドレスを美しく着せるためのパニエやファンデーションを使用する事が理解できる。シルエットに添った小物を選らぶ事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	近年の流行に関心を持ち、新郎新婦の衣装小物、スタイリングを意識できる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ドレスフィッティングの出来栄が美しいか否かの判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	ドレスの取り扱い方を知り、お客様へ行うように丁寧に美しくドレス着付を行える。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス・コスチュームの概要	ブライダルコスチュームとは、コスチュームアドバイザーとは						
第2回	ウェディングドレスの基礎①	ドレス関連用語、デザインの特徴、アクセサリー、小物の種類など						
第3回	ウェディングドレスの基礎②	ドレスの MATERIAL(布地・素材)、サイズ展開、採寸、小物合わせ						
第4回	ウェディングドレスの基礎③	ドレス・ベール・パニエの扱い方、メンテナンスの重要性						
第5回	メンズコーディネート	新郎衣装の基礎知識、衣裳店について				小テスト		
第6回	フィッティング① 基礎編	ドレスの着せ方、選び方、ドレス下着の重要性など				用意：白手袋/着付室実習		
第7回	フィッティング② 基礎編	お客様のサイズに合わないドレスの着せ方・補正のテクニック				着付室実習		
第8回	フィッティング③ 応用編	体型などの悩みに合わせたコーディネート				着付室実習		
第9回	スタイリングの実践①	ドレスショップでの接客や提案の仕方、ドレス着付けの実践				着付室実習		
第10回	スタイリングの実践②	ドレスショップでの接客や提案の仕方、ドレス着付けの実践				着付室実習		
第11回	和装コーディネート①(衣裳店見学)	和装婚礼の衣装に関する基礎知識・コーディネートの仕方				衣裳店見学(予定)		
第12回	和装コーディネート②(衣裳店見学)	列席者衣装の種類やしきたり、マナーを学ぶ				衣裳店見学(予定)		
第13回	ドレススタイリング 準備編	会場、モデル約に合わせたコーディネートを考える				グループワーク		
第14回	ドレススタイリング 実践編	実際にコーディネートをし、プレゼンテーション				グループワーク		
第15回	前期試験	前期の振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○		○		50%	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	○				10%	A(3):80点以上
グループワーク		○	○		○		10%	B(2):70点以上
授業態度	○		○	○			20%	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習	○	○	○		○		10%	
出席							欠格条件	
担当教員	北 昌幸			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/			

科目名	ブライダルプロデュース I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	通期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	学内でオープンキャンパスを通して模擬披露宴を行い、現場の緊張感やチームワークを学ぶ。リアルウェディング(本物の結婚式)の場合もある。また、ブライダルに携わる業務全てを学生時代から経験する事で、プランナーとして通用する人となる事を目指す							
授業の一般目標	披露宴の打合せから施行までの基本対応を学び、学生達により実施する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	挙式や披露宴の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの披露宴と挙式を実行する事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた進行を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参列者や他の学生に対応する事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リアルウェディング	概要説明・役割分担・完成までの準備スケジュールの確定				各担当ごとに、準備・練習を行い 都度情報の共有を行う		
第2回	リアルウェディング(準備編)	テーマについて(全体)、招待状・席札・席次等のデザインと作成						
第3回	リアルウェディング(準備編)	ドレス提案と着、ヘアメイク提案と施術、ブーケ、ヘアード提案と作成						
第4回	リアルウェディング(準備編)	進行内容確定(全体)、進行に添った司会台本の作成と練習、音響照明、カメラの練習と準備						
第5回	リアルウェディング(準備編)	会場レイアウト及び装飾の確定、装飾作成、席次表作成						
第6回	リアルウェディング(準備編)	打合せ内容の共有、当日スケジュール確定、備品類準備、当日サービス配置確定など						
第7回	リアルウェディング(打合せ編)	ゲストとの打合せ実践を行う(複数回実施予定)				レポート提出		
第8回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を集約し、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第9回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第10回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第11回	リアルウェディング(リハーサル編)	職員を招き、本番想定のリハーサルを実施				1月0日		
第12回	リアルウェディング(リハーサル編)	本番に備えた最終準備・リハーサル						
第13回	リアルウェディング実施	準備から本番、お見送りまで当日の運営を全て学生達で行う					レポート提出	
第14回								
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀 (S): 100点~90点
小テスト								優 (A): 89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			25	良 (B): 79点~70点
授業態度		◎	○				40	可 (D): 69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		35	不可 (E): 59点以下
演習								
出席			○					失格条件
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/			

科目名	ブライダルプロデュースⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	通期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	学内でリアルウェディング(本物の結婚式)を行い、現場の緊張感やチームワークを学ぶ。 また、ブライダルに携わる業務全てを学生時代から経験する事で、プランナーとして通用する人間になる							
授業の一般目標	本物の結婚式と披露宴を、打合せから施行まで全てを学生主導で行う。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	挙式や披露宴の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの披露宴と挙式を実行する事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた進行を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参列者や他の学生に対応する事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リアルウェディング	概要説明・役割分担・完成までの準備スケジュールの確定				各担当ごとに、準備・練習を行い 都度情報の共有を行う		
第2回	リアルウェディング(準備編)	テーマについて(全体)、招待状・席札・席次等のデザインと作成						
第3回	リアルウェディング(準備編)	ドレス提案と着、ヘアメイク提案と施術、ブーケ、ヘアード提案と作成						
第4回	リアルウェディング(準備編)	進行内容確定(全体)、進行に添った司会台本の作成と練習、音響照明、カメラの練習と準備						
第5回	リアルウェディング(準備編)	会場レイアウト及び装飾の確定、装飾作成、席次表作成						
第6回	リアルウェディング(準備編)	打合せ内容の共有、当日スケジュール確定、備品類準備、当日サービス配置確定など						
第7回	リアルウェディング(打合せ編)	ゲストとの打合せ実践を行う(複数回実施予定)				レポート提出		
第8回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を集約し、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第9回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第10回	リアルウェディング(リハーサル編)	各パートごとの練習や準備を一同に集め、繰り返しリハーサルを行い情報共有、内容改善を繰り返す						
第11回	リアルウェディング(リハーサル編)	職員を招き、本番想定のリハーサルを実施						
第12回	リアルウェディング(リハーサル編)	本番に備えた最終準備・リハーサル				1月0日		
第13回	リアルウェディング実施	準備から本番、お見送りまで当日の運営を全て学生達で行う				レポート提出		
第14回								
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀 (S):100点~90点
小テスト								優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			25	良 (B):79点~70点
授業態度		◎	○	○			40	可 (D):69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		35	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					失格条件
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/			

科目名	セレモニープロデュース I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	通期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	模擬挙式の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。							
授業の一般目標	模擬挙式を、ブライダル科2年生・先生方をお客様とし実施する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	挙式の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの挙式を実行する事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた挙式を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参列者や他の学生に対応する事ができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回 4月14日	オリエンテーション	授業の概要、模擬挙式までのスケジュールを説明、挙式について				宿題: 挙式演出ひとり5個以上		
第2回 4月21日	テーマ確定	挙式演出を持ちより、全員でテーマを決める						
第3回 5月12日	プランニングの発表・模擬挙式進行の決定	各自プランニングを発表し、その中で1つのプランニングを選び進行詳細を決定				各自テーマに沿ったプランニングを発表		
第4回 5月19日	模擬挙式準備	進行の詳細(司会台本の作成)・必要準備アイテムについて考える						
第5回 5月26日	模擬挙式準備	役割分担を行い、各自スケジュールを組み立てる、準備						
第6回 6月2日	模擬挙式準備	全体共有を行いながら役割ごとの準備・練習						
第7回 6月9日	模擬挙式準備	全体共有を行いながら役割ごとの準備・練習						
第8回 6月16日	模擬挙式準備	全体共有を行いながら役割ごとの準備・練習						
第9回 6月23日	音響・照明について	音響・照明技術について学ぶ						
第10回 6月30日	音響・照明について	音響・照明技術について学ぶ						
第11回 7月12日	音響・照明について	音響・照明技術について学ぶ						
第12回 7月14日	模擬挙式リハーサル	本番想定のリハーサルを行う						
第13回 7月21日	模擬挙式 ランスルー	本番同様 全てを通して行う						
第14回 8月31日	模擬挙式 ランスルー	本番同様 全てを通し前日準備				小テスト実施		
第15回 9月1日	期末テスト実施(模擬挙式 本番)	模擬挙式 本番				振り返りレポート提出		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀 (S): 100点~90点
小テスト	◎	○	○				15	優 (A): 89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			10	良 (B): 79点~70点
授業態度		○	◎	◎			30	可 (D): 69点~60点
発表・作品	○	○	◎	◎	◎		45	不可 (E): 59点以下
演習							評価なし	
出席			○					
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/okazawa/			

科目名	セレモニープロデュースⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	通期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	模擬挙式から披露宴までの企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割を理解して、ブライダルプランナーになる意識を高める							
授業の一般目標	保護者や学生、内定先の企業様をお招きして、挙式から模擬披露宴を実施する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	披露宴の進行やあらゆる演出について説明が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	準備及び本番の時間管理を行いながら、オリジナルの披露宴を実行することができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	授業で学んだ知識を積極的に取り入れた披露宴を行える							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	プロのプランナーと同等のマナーで参列者や他の学生に対応することができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	司会、音響、衣裳などそれぞれ与えられた役割を円滑にこなす事ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備考		
第1回	オリエンテーション テーマ・スケジュールの確定	授業の概要を説明、テーマを発表し、完成までのスケジュールを確認する				4月15日(金)		
第2回	テーマに沿ったプレゼン準備	各自テーマに合わせての披露宴プランを作成				4月22日(金)		
第3回	模擬披露宴準備	装飾や新郎新婦イメージの確定・招待状のデザイン確定				5月13日(金)		
第4回	模擬披露宴準備	招待者リストアップ・招待状の作成				5月20日(金)		
第5回	模擬披露宴準備	進行表の完成→BGM・司会進行準備を開始する				5月27日(金)		
第6回	模擬披露宴準備	会場レイアウトを確定し、装飾品や新婦のブーケなどの準備を行う				6月3日(金)		
第7回	模擬披露宴準備	各役割ごとの準備や練習を行う				6月10日(金)		
第8回	模擬披露宴準備	各役割ごとの準備や練習を行う				6月17日(金)		
第9回	模擬披露宴リハーサル	動きを確認しながらリハーサルを行う				6月24日(金)		
第10回	模擬披露宴リハーサル/模擬披露宴準備	リハーサルを通じて、改善・修正をする 各グループで役割・仕上がりを再確認				7月1日(金)		
第11回	模擬披露宴リハーサル/模擬披露宴準備	リハーサルを通じて、改善・修正をする 各グループで役割確認				7月8日(金)		
第12回	模擬披露宴リハーサル	通しリハーサルを行い、動きの確認をする				7月15日(金)		
第13回	模擬披露宴リハーサル	当日スケジュールの最終確認				7月22日(金)		
第14回	模擬披露宴リハーサル	客入りから迎賓までの動きを確認しながら通しリハーサルを繰り返す				7月28日(木)		
第15回	模擬披露宴実施	模擬披露宴の実施				7月29日(金)		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 発表内容に関するレポート提出、準備姿勢、発表当日の完成度に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					15	秀 (S):100点~90点
小テスト								優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎	○	○			10	良 (B):79点~70点
授業態度		◎	○				30	可 (D):69点~60点
発表・作品	◎	○	◎	○	○		45	不可 (E):59点以下
演習								
出席			○					
担当教員	森田 有香		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/				

科目名	ブライダルプランニング演習			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プランナーにおける結婚式当日までの打ち合わせの流れを知る。また実際に打ち合わせ内容について説明ができるようにロープレを実施する。							
授業の一般目標	プランナーにおける結婚式当日までの打ち合わせの流れを知り、プランニング能力の向上を図る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	結婚式や披露宴においてプランナーとして必要な対応や準備手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルプランナーに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	お客様に対して打ち合わせの内容について理解できるように説明ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ガイダンス	結婚式のイメージ・結婚式という商品について・授業概要						
第2回	結婚式当日の進行について	進行表について内容を読み取れるようにする・1日のタイムスケジュール						
第3回	結婚式の準備について	結婚式本番までの打ち合わせの流れについて						
第4回	打合せの基礎①	招待状とは・招待状の内容について知る						
第5回	打合せの演習	招待状打ち合わせの演習						
第6回	打合せの基礎②	席次表とは・席次表の内容について知る						
第7回	打合せの演習	席次表打ち合わせの演習						
第8回	打合せの基礎③	進行・演出の内容について知る						
第9回	打合せの演習	進行に関する打ち合わせの演習						
第10回	ブライダルアイテム	ブライダルアイテムについての理解を深める						
第11回	イメージトレーニング①	様々なテーマをピックアップし、どのような提案ができるか話し合う					グループワーク	
第12回	イメージトレーニング②	様々なテーマをピックアップし、どのような提案ができるか話し合う					1月0日	
第13回	プランニング①	実際にテーマに沿って結婚式をプランニングする					グループワーク	
第14回	プランニング②	実際にテーマに沿って結婚式をプランニングする					グループワーク	
第15回	新規接客を受ける	2年生の新規接客をお客様役として接客を受ける・振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 研修内容に関するレポート提出、準備姿勢、研修に取り組む姿勢に、出席点を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎		○	◎		30	秀 (S): 100点~90点
小テスト		○	◎				20	優 (A): 89点~80点
宿題授業外レポート								良 (B): 79点~70点
授業態度	○		◎	◎	○		20%	可 (D): 69点~60点
発表・作品								不可 (E): 59点以下
演習	◎	○	◎	○	○		30	
出席			○					欠格条件
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/			

科目名	ブライダル広告研究		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で大きく費用のかかる宣伝広告費を理解しながら、マーケティング手法を学びリアルウェディングのリーフを作成する事で集客につなげる。							
授業の一般目標	宣伝広告費を理解する。ビジネスフレームワークを理解する。リーフ作りに必要なキャッチコピーの作り方を理解する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界の広告について関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ブライダル業界の広告について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ブライダル業界の広告宣伝費を理解する	ブライダル業界の広告宣伝費はどのくらいかかるのか？大手企業の広告宣伝費を参考に売り上げから広告宣伝費の割合を知る						
第2回	広告と宣伝の違いを理解する	広告と宣伝の違いを理解し、どのように広告宣伝をしていけばリアルウェディングの顧客を集客できるかプレストディスカッションを行う						
第3回	環境やサービス内容を分析する①	身近な題材を用いてSWOT分析を理解する						
第4回	環境やサービス内容を分析する②	SWOT分析を理解し現在の取り巻く環境やリアルウェディングの強み弱みを改めて分析する						
第5回	顧客について分析する①	身近な題材を用いてペルソナを理解し顧客を分析する						
第6回	顧客について分析する②	リアルウェディングを希望する顧客はどのような顧客かペルソナを用いて分析する						
第7回	キャッチコピーを考える①	あらゆる企業の有名なキャッチコピーを知り、キャッチコピーの考え方や作り方を学ぶ						
第8回	キャッチコピーを考える②	実際に例題を用いてキャッチコピーを作成する						
第9回	テキスト構成を考える	見やすいフォント、テキストの構成を学ぶ						
第10回	リーフ作成のための素材集め	リーフ作成に必要な素材を集める						
第11回	リーフ作成のための素材集め	リーフ作成に必要な素材を集める						
第12回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成				1月0日		
第13回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成						
第14回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成						
第15回	リアルウェディングリーフの作成	リーフ作成						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	國定 章子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/			

科目名	メイクセラピー		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	花嫁様の披露宴での心理的なストレスを和らげるメイクセラピーの技術を身につける。							
授業の一般目標	メイクセラピスト2級合格を目指し、セラピストの知識として花嫁様に傾聴・アドバイスができる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	メイクセラピーの意味	オリエンテーション						
第2週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心						
第3週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心が他人から見た時の印象						
第4週	自分の顔分析	相モデルにて顔の分析						
第5週	アイシャドーなどの使い方	円心・求心をどのように矯正するか						
第6週	カラーが人に与える印象	色の効果や光の効果						
第7週	カラーの効果	カラーが人に与える印象、その使い方						
第8週	印象分析	印象をコントロールし自分のコンプレックスを克服する						
第9週	傾聴の意味	クライアントの話の聴き方。その動作や実際の動き						
第10週	心理学の基本的な知識	罪悪感など人間の心理を学び、クライアントの軽重ができる						
第11週	リップやチーク、アイシャドウの色の持つ効果	リップ・アイシャドー・チークなど色の使い方で印象管理						
第12週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)				1月0日		
第13週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)						
第14週	試験直前模試	筆記とメイク実習						
第15週	期末試験	全体の期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	ビジネス基礎 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定3級(6月受験)の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定3級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	検定の概要	授業の進め方 検定概要の確認				秘書検定3級対策		
第2回	必要とされる資質 秘書の心構え 必要な条件	秘書業務の心構え・身だしなみ・第一印象 心遣い、守秘義務、社内連絡、社外連絡				秘書検定3級対策		
第3回	職務知識 秘書の役割と機能 職務	秘書の分類 心構え 定型業務				秘書検定3級対策		
第4回	一般知識 企業の基礎知識	企業の目的 会社の形態と会社の種類 組織と機能 経営管理				秘書検定3級対策		
第5回	企業の組織と活動	人事 労務 会計 財務 マーケティング				秘書検定3級対策		
第6回	社会常識	基礎用語 上位s機としての片仮名語				秘書検定3級対策		
第7回	人間関係と話し方	人間関係と話し方 人間関係の重要性 挨拶 話し方と人間関係				秘書検定3級対策		
第8回	話し方聞き方の応用	話し方聞き方の応用 情報伝達の仕方 報告の仕方				秘書検定3級対策		
第9回	電話応対	電話応対 電話のマナーと話し方の注意点				秘書検定3級対策		
第10回	接遇	接遇の心構え アポイント調整 受付マナー 案内マナー				秘書検定3級対策		
第11回	交際	慶事の知識とマナー 食事のマナー				秘書検定3級対策		
第12回	会議と秘書	会議の目的と種類 会議の種類				1月0日		
第13回	ビジネス文書と秘書	社内文書の基礎知識 種類と形式 慣用表現 文書管理				秘書検定3級対策		
第14回	資料管理	ファイリングの基礎知識 名刺の整理 日程管理				秘書検定3級対策		
第15回	日程管理 オフィス管理	日程管理と予定表 予定表の作成				秘書検定3級対策		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/			

科目名	ビジネス基礎Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定2級(1月受験)の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定2級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	3級試験範囲の復習	3級試験範囲の復習						
第2回	3級試験範囲の復習	3級試験範囲の復習						
第3回	模擬試験実施	過去問の実施						
第4回	必要とされる資質	秘書の心構え 秘書に必要な条件						
第5回	職務知識	秘書の役割と機能 秘書の職務						
第6回	一般知識 企業と経営	資本と経営 企業の組織形態 経営管理						
第7回	一般知識 企業の活動	人事労務 会計財務 手形小切手 税務 生産管理						
第8回	社会常識	情報処理とニューメディア 常識としての基礎用語略語カタカナ語						
第9回	マナー 接遇	人間関係と話し方・聞き方 基礎応用						
第10回	電話応対と接遇 交際	電話応対の基本 接遇用語の使い方 慶事の対応 パーティ等の知識						
第11回	会議と秘書	会議の知識 準備設営 会議中の秘書の仕事						
第12回	ビジネス文書の作成 文書の取り扱い	社内文書の種類と形式 社交文書 ビジネス文書の慣用語 メモの取り方				1月0日		
第13回	文書 資料管理	ファイリングの基本 保管方法 名刺の整理 情報収集と管理						
第14回	日程管理とオフィス管理	予定表の種類と記入要項 事務用品の種類						
第15回	模擬試験の実施	秘書検定2級の過去問実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	森田 有香		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/				

科目名	プレゼンテーション・ディベート学 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
授業の一般目標	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表現ができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	プレゼンテーションに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でプレゼンテーションについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの種類と定義について						
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション	コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて						
第3回	プレゼンテーションの目的	紹介のプレゼンテーション						
第4回	プレゼンテーション準備と流れ1	聞き手の分析や目的の明確化						
第5回	プレゼンテーション準備と流れ2	プラン作成やツールについて						
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本	聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ						
第7回	バーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法						
第8回	ノンバーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法						
第9回	身近なプレゼンテーション	スピーチ・フリートーク						
第10回	ディベート理論	インタビューをしてみよう						
第11回	ディベート基礎	会議と司会をしてみよう						
第12回	ディベート基礎	学校生活について話してみよう				1月0日		
第13回	ディベート演習	グループワーク						
第14回	発表に向けてのリハーサル							
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	國定 章子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/			

科目名	プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
授業の一般目標	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表現ができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	プレゼンテーションに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でプレゼンテーションについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備考		
第1回	コミュニケーションとプレゼンテーション	1年後期の振り返り 模擬披露宴に向けてのプレゼン準備				4月14日(木)		
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション	模擬披露宴に向けてのプレゼン準備				4月21日(木)		
第3回	課題のプレゼンを行う	再構築したプレゼン発表を				4月28日(木)		
第4回	発表したプレゼンのフィードバック	プレゼンのフィードバック 課題への取り組み						
第5回	ディベートとは?	ディベートの考え方、定義						
第6回	ディベートの方法	議論の設定、持論の整理						
第7回	知的基礎をつける	知識の収集方法、考え方や話し方						
第8回	ディベート力を生かす	どの様な場面で生かせるのか						
第9回	ディベート実習	「今後日本の結婚式は無くなっていく」						
第10回	ディベート実習	「今後日本の結婚式は無くなっていく」						
第11回	ディベート実習	「日本は救急車を有料化するべきである」						
第12回	ディベート実習	「日本は救急車を有料化するべきである」						
第13回	ディベート実習	自らが現代社会において必要なテーマを探求し、討論する						
第14回	ディベート実習	自らが現代社会において必要なテーマを探求し、討論する						
第15回	期末テスト	1から14回目の内容で期末テスト実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	國定 章子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/			

科目名	ブライダル企業研究		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	婚礼会場はどのような場所にあるのか、そこではどのような仕事があるのか、関連業種などについて調べる。インターンシップの事前学習も行う。ブライダル業界をプレ・当日、新生活部分に分けて様々な角度から検討し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界を調べる事によって業界内の様々な職種を知る。また、そこで求められる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高める。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	就活ナビノート							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業界とは何かについて説明できる。 2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げたブライダル関連企業について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でブライダル業界について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	ブライダル業界の関連職種はどのようなものがあるか理解する						
第2回	ブライダル業界企業の特徴①	上場、未上場、親会社が他業種などブライダル企業の現在を知る						
第3回	ブライダル企業の特徴②	ブライダル企業を調べる						
第4回	ゲストハウス・ホテルウェディングの違い	ゲストハウス・ホテル 各施設でのウェディングをイメージし自分の将来像を考える						
第5回	ブライダル業界調査 発表	ガーデンオリエンタル大阪について企業研究と発表						
第6回	ガーデンオリエンタル大阪で職種体験	実際の現場に行き、様々な職種について知ろう				校外学習(6月1日)		
第7回	自分を知る	前回の体験を踏まえて、自分はなぜこの業界で活躍したいと思うのか、どの職種に興味を持ったかを知る						
第8回	就職活動 準備①	就職活動に向けた企業研究ノート作成について						
第9回	就職活動 準備②	就職活動での面接対策(グループディスカッション)						
第10回	就職活動 準備③	就職活動での面接対策(グループ面接)						
第11回	就職活動 準備④	就職活動での面接対策(個人面接)						
第12回	インターンシップについて	インターンシップ先での働き方やマナーについて				1月0日		
第13回	インターンシップ先の企業研究							
第14回	まとめとインターンに向けての心構え	これまでのまとめとその業界に求められる人物像などについてディスカッションを行う				ブライダル企業に関する レポート提出		
第15回	まとめとインターンに向けての心構え	インターンシップの事前学習、お礼状や履歴書の準備など						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点(レポート・小テスト)70%、授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート	◎	◎	○	○			40	B(2):70点以上
授業態度			○	○			20	C(1):60点以上
発表・作品		○	○				10	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	森田 有香			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/morita/			